

坂総合クリニックです。

◎私たちの施設の特徴◎

- ・多賀城市と塩竈市の市境にあり、下馬駅から徒歩すぐ、坂総合病院の隣のクリニックです。そのクリニックの7階に通所リハビリテーションはあります。
- ・専任理学療法士1名、作業療法士1名に坂総合病院との兼務理学療法士1名、作業療法士1名、言語聴覚士2名体制で1日20名前後の利用者様のリハビリを行っています。個別リハビリのみならず、自主練習などの個人プログラムや野菜作り、調理、買い物などの活動、自宅訪問も積極的に行っています。
- ・リハ職が1日配置されており、介護福祉士・看護師とチームとなって利用者様のバックアップを図っています。言語聴覚士も短時間ですが、毎日対応しているため言語聴覚療法の対象者も多く利用しています。

<リハビリテーションに関する連絡先>

公益財団法人宮城厚生協会 坂総合クリニック 通所リハビリテーション
〒985-0835 多賀城市下馬 2-13-7
電話：022-367-9057 / ファクシミリ：022-367-9058



看護師・介護福祉士・理学療法士



理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

塩釜
地区

リハビリネットワーク通信

第8号

(平成29年9月発行)

発行元：
宮城県仙台保健福祉事務所
健康づくり支援班
022-363-5503 (直通)

Qにお答えします

- Q. デイケアでリハビリをする際に大事にしている事はなんですか？
(ケアステーションしおかぜ)
- A. 通所では自宅での生活がなかなか見えにくくなりがちなので、自宅生活も含め小さな変化でも気づけるよう心がけています。
他利用者様と一緒にリハビリを行うことでの相乗効果や、交流を通してコミュニケーション機会の確保、意欲・活動の幅が拡大できるような場となるように心がけております。

バトンでつなごう

一問一答 ~紹介リレー~



次回：加瀬ウェルネスタウン
さんへバトンタッチ

●質問コーナー●

- Q. 診療所、老健、通所リハ、保育園と様々なサービスを行っていますが、複合的に行っているの利点や大変な点などはありますか？

リハビリ川柳

「杖という 脚を増やして 歩く道」(作業療法士)

【解説】病院でのリハビリから退院し通所でのリハビリへと移行、そして屋外を歩く練習まで出来るようになった。利用者様も私達も歩みを確認できる時です。

「あきらめた 右手使えて 感謝の声」(作業療法士)

【解説】右手は一生動かないと思いつつも、通所リハで手の訓練を始め、手が自然に動いた時の感動と喜びが伝わってきます。

「買い物リハ 気づけばこんなに 歩いてた」(理学療法士)

【解説】スーパーに買い物練習へ。久しぶりに自分で商品を見て、選びながら歩いてくるとクリニック内で歩く練習をするよりもずっと長い距離を自然と歩いていました。満足感が強く、疲れは感じなかった様子でした。